

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和7年第29週 (7月14日～7月20日)



感染性胃腸炎が増加しました

今週の竹田市調査医療機関からの報告数は8名と、先週の4名から増加しました。
大分県全体では定点あたり8.14人と、先週の定点あたり8.56人から減少しています。
高温多湿な時期は、細菌性の食中毒が発生しやすいといわれています。先週は、大分県内で腸管出血性大腸菌感染症 (O157) の報告がありました。予防のためには、次のようなことに注意しましょう。

- ・調理前やトイレの後には手をしっかり洗いましょう。
- ・食肉などは中心部まで十分に加熱しましょう。
- ・生鮮食品や調理後の食品を保存する際は、冷蔵庫で保管し、早めに食べましょう。



大分県で水痘(水ぼうそう)の流行発生注意報が発令されました

大分県では、第28週に定点あたり1.39人の報告があり、約6年ぶりに注意報の基準となる1.00人を超えました。
竹田市調査医療機関からは、今週1名の報告がありました。
水痘は、水痘帯状疱疹ウイルスに初めて感染することにより発症する病気です。かゆみを伴う発しんが全身に出現し、主に小児に多く見られます。感染から2週間程度の潜伏期の後、発熱や全身にかゆみを伴う水疱状の発しんが出現します。発しんは痂皮(かさぶた)化して治癒するとされています。水痘は感染力が強く、空気感染、飛沫感染、接触感染により広がります。特に、水疱の中にはウイルスが多く含まれているため、水疱に触れた後は手をしっかりと洗い、タオルの共用は避けましょう。
予防接種であらかじめ免疫を獲得しておくことが有効な感染対策となります。定期予防接種となっていますので、1歳～3歳未満のお子さまで未接種の方は、医療機関へご相談ください。

(第29週) (調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年 齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱（プール熱）	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘（みずぼうそう）	手足口病	伝染性紅斑（リンゴ病）	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	マイコプラズマ肺炎	麻しん（全数報告）	風しん（全数報告）	百日咳（全数報告）	つつが虫病（全数報告）
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳												1	2						
4～6歳								4			2								
7～9歳																			
10～14歳								1	1										
15～19歳				1															
20歳以上				7				3											
今週				8				8	1		2	1	2						
70歳以上 （再掲）				1															
先週	1			7			1	4			2		4						

